

異物を取り除いた後、圧縮梱包機で約1メートル角のサイコロ状（重さ約200キロ）に圧縮され、国内の再生処理事業者へ出荷されます。日に20～30梱包になるそうです。

分別の際のポイント～プラ容器等ごみ～

- ① プラマークが付いていること。プラスチック製品でもプラマークが付いていないものは市が再資源化を行うプラスチック製容器包装に該当しない。
- ② 中身が残っていたり、油や食品等で汚れていないこと。
- ③ 袋が二重にならないこと。市の指定収集袋にプラ容器等のごみをそのまま入れるようにし、他の袋（コンビニ袋等）と二重にならないように気を付けること（二重になっていると袋を破って中身を確認しなければならない）。



さらにプラごみ問題を考えてみよう

中国への輸出が出来なくなってどうするか

中国への廃プラスチックの輸出が出来なくなって、日本のプラごみはどうなるのだろうかという心配があります。中国への輸出が減り始めた2017年9月以降、中国以外の国への輸出を増やしてその穴を埋めて来ましたが、世界の環境問題を考えると将来、輸出に頼ることは難しくなってきます。

その対応策としては、まずプラごみの排出量を減らすことが重要です。それと合わせて国内での資源循環をさらに進めることが不可欠です。国では国内での資源循環を進めるためにリサイクル高度化設備の導入に対して国庫補助を行うこととし、そのための予算も増やしています。

・日本のプラスチックリサイクルの現状は

プラスチックのリサイクルには次の3種類の手法があります。

- ① マテリアルリサイクル…プラごみを破碎・溶解したあとのリサイクル
- ② ケミカルリサイクル…プラごみを化学分解したあとのリサイクル
- ③ サーマルリサイクル…プラごみを燃やした時に得られる熱エネルギーを回収利用するリサイクル

日本のリサイクル率（2017年時点）は、①が23%、②が4%、③が58%となっています（残りの14%は単純焼却・埋め立て）。サーマルリサイクルを含めると日本のプラごみリサイクル率は約86%にもなっているといわれますが、欧米の基準では③はリサイクルに含まず熱エネルギー回収としています。

・資源循環を推進する戦略は

このような状況を鑑み、国では令和元年5月プラスチックの資源循環を総合的に推進するための戦略（プラスチック資源循環戦略）を策定公表しました。そこでは、使い捨て容器包装等の発生抑制（リデュース）、使用済みプラスチック資源の徹底的かつ効果的・効率的な回収・再生利用、化石燃料由来のプラスチックの代替（バイオプラスチック等）促進などが掲げられています。

★市民はどう考えているか ～あなたはいかがですか～

・「プラごみについて」自治会アンケート調査から

大津市地球温暖化防止活動推進センターでは、温暖化防止について地域の人たちの意識や実態を知るために自治会アンケートを実施しました。アンケート設問の中から「プラごみ」に関する部分の集計結果の抜粋を掲載します（質問は複数回答可のため計が100%を超えます）。

回答者数：(4)は721人、他の質問は647人

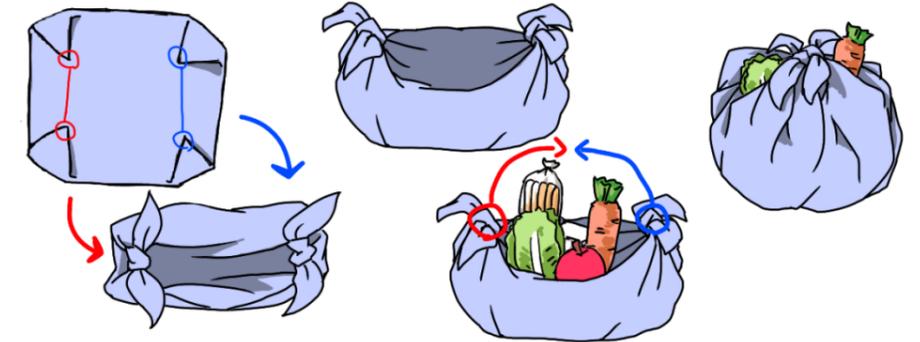
- (1) 食品トレイやパックを出すときに
 - ① 汚れていないものはそのまま出している ……27.7%
 - ② 水で洗って汚れを落として出している ……72.0%
 - ③ 汚れのひどいときは「燃やせるごみ」として出している ……59.2%
- (2) プラスチック製容器包装について
 - ① 自治体が指定するプラスチック製容器包装収集日に分別して出している ……66.5%
 - ② 素材がいろいろなので分別の仕方がよく分からない …… 5.4%
 - ③ 自治体の「燃やせるごみ」として収集日に出している ……23.6%
 - ④ アルミ蒸着したものは「燃やせるごみ」として出している ……18.7%
- (3) プラスチックごみが増えていることについて（あなたの考えに近いものは）
 - ① 核家族や単身世帯が増えており、ごみが減らないのもやむを得ない ……15.5%
 - ② 働く人が増えておりパックした食品を買う機会が多くなり、ごみが増えるのもやむを得ない 34.5%
 - ③ プラスチックごみを外国に輸出することが難しくなり、また国内での処分も限界に近づいているので、ごみを減らすことをもっと工夫するしかない …… 54.4%
- (4) リサイクルについて（あなたの考えに近いものは）
 - ① 資源の有効利用のためにもっとリサイクルを進めるべきである …… 45.7%
 - ② リサイクルは費用がかかりエネルギーも使うので、ごみは燃やして熱を利用するのがよい ……13.4%
 - ③ リサイクルにあたり自治体のごみ分別の仕方をよく理解している …… 27.4%

- ④ 分別の仕方がよく分からず迷うことがある …… 17.3%
 - ⑤ メーカーや販売者は「つくる責任」を感じて過剰な容器や包装を避けるようもっと努力してほしい 57.8%
 - ⑥ まだ一部であるがストローの非プラスチック化やペットボトルの再利用が進められていることは好ましい。もっと改善を加速してほしい ……56.0%
- (5) ごみ減量のために有料化を進めることについて（あなたのお考えに近いものは）
- ① 多少の費用を負担してもよから環境を守るための有料化はやむを得ない …… 29.1%
 - ② 有料化した収入でリサイクルが促進できるしくみをつくってほしい（有料化効果の「見える化」が必要） 37.4%
 - ③ 有料化したからといってごみが減ることは期待できないので、有料化に賛同できない ……33.8%

プラごみを減らす工夫 ～風呂敷をマイバッグとして使う～

耳より情報

風呂敷は古くからある日本の文化。プラスチック製の袋が気軽に使えるようになって、風呂敷の良さが忘れられていないでしょうか。繰り返し、かつ、多様な結び方で便利に使い、エコにも役立つ風呂敷の利用をもう一度思い返してみましょ。例えば下図のように簡単にマイバッグに。



【実施事業の報告】

CO₂排出削減 「これからの、エコな車の選び方」を開催しました！

11月16日（土）2019年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金事業（環境省）として、滋賀トヨペットウエルコム栗東様のご協力により「これからの、エコな車の選び方」を実施しました。最初に、講師の本居正晃氏（滋賀トヨペット）にご講演いただきました。いわゆるエコカーと総称されるPHV（プラグインハイブリッド車）、FCV（燃料電池自動車）、EV（電気自動車）について、それぞれの特徴、環境への配慮、コストメリット等、各自のライフスタイルに合った車選びの参考になるお話をお聞きました。



講義の後、3種の車の試乗体験を行いました。地球温暖化防止の視点、自分のライフスタイルの視点から参加者は興味を持って「エコカー」への理解を深めることができました。

CO₂排出削減 「宅配1回で受け取ろうキャンペーン」を開催しました！

11月24日（日）イオンスタイル大津京4階のイベントコーナーにおいて、環境省二酸化炭素排出抑制対策事業の一環として「宅配を1回で受け取ろうキャンペーン」の記念事業を開催しました。留守のため配達に来た荷物が受け取れず再配達になるケースが少なからずあります。皆さんもご経験のあるところですよ。

再配達に伴って余計なCO₂の排出につながります。なるべく再配達にならないよう1回で受け取ろうという意識を高めていくためのイベントでした。再配達を減らす工夫の提案もありました。

～宅配を「1回で受け取る」ための工夫～留守のとき、こんな方法があります～

【受け取れる時間・場所を指定する】

- ★ヤマト宅急便「LINE利用による」受取日時・場所の変更
<http://www.kuronekoyamato.co.jp/yt/customer/members/>
- ★日本郵便「LINEで郵便局」 <https://yu-bin.jp/post/myinfo/>
- ★佐川急便「WEBトータルサポート」 <https://www.sagawa-exp.co.jp/service/wts/>
- 【留守でも受け取る】
- ★宅配ロッカーや置き配バッグを利用する OKIPPA <https://www.okippa.life/>